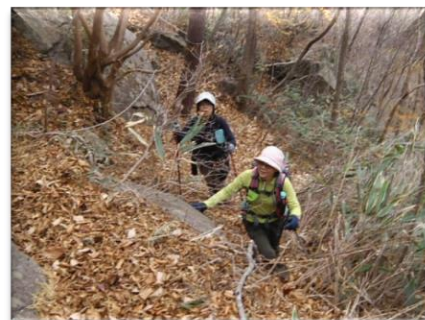


竜子山 (938m)

2018年11月22日(木)

参加者 志尾崎、柏村夫妻、秋葉、下山田



水石トンネルを7時に出発、前日足腰の調子が良さそうなので参加することにした。葛尾村のたつこ山の地図を印刷したが、目的の山は「竜子山」で、印刷したのは「辰子山」だった。

/仕方がないGPSを頼りに登山口を出発。と準備をしていると車が止まり、「これから登るのか」と話しかけてきた。ここから神社までは道があるが、その上はやぶ漕ぎだとの事。また、反対側にも神社があり、そちらは頂上まで道があるとの事。この辺の役員をしているとの事。また自転車でごみを捨てに来たお母さんが、神社の由来や、11月3日にお祭りがあると話してくれた。

田舎はこれが楽しい。広い林道を歩きだし、途中登山道に入り葛尾なので放射能を測定しながら歩く。分岐で0.4μ、いわきよりやはり高い。

秋の落ち葉をカサカサ音を立て、踏みしめながら歩くのは楽しい。それもすぐに急登となり、大岩の下で神社にであう。

そこからやぶ漕ぎとなりやがて山頂にひょっこりできた。



記念撮影と今日のデザートタイムとなった。口に出たのが、「今日のやぶ漕ぎは大したことなかったね。」いやー皆さん成長しましたねー。

下山は道なりに下っていく。途中説明を受けた2つ目の神社への案内板があり立ち寄りまた記念撮影とする。

反対側の登山口に到着するが、双方に入口の表示板がある。そこから駐車場所まで平坦な道が、足腰に痛みが走り大変だった。

コースタイム：風呂前登山口 8：20－9：13 竜子神社－
10：06 山頂 10：37－11：06 竜子神社 11：12－11：49 駐車場

（今回も葛尾村の食堂に寄ったがチャーハンが3人前はあった）



田人中央山地 焼倉 740m～縦山 690m

2018年12月13日

秋葉信夫、志尾崎、柏村、下山田、蛭田一二三、芳賀、渡辺敏夫、渡辺美一

土・日曜日が休みでない人でも参加できるようにと日帰りで楽しめる山をと4月から始めた「木曜デザートクラブ」月に1～2回出来ればいいなと思っていたが殆ど毎週になり、今日で何と25回にもなった。

車1台を下山地に置き、集合場所のおふくろの宿近くの駐車場に向かう。

車に分乗し、県道勿来・浅川線を明神山登山口を通り過ぎ貝泊に向かって行き、右側の「林道石寄線」に入る。800m程行くと登山口、駐車スペースもある。

作業道を辿るとやがて雑木林の笹の中を進むが、所々にある



古い針金と碇子から、かつては広々とした放牧場だったことが伺われる。

頂上には巨石があり、少し離れたところに三等三角点がある。付近は樹木に覆われ展望は無いが、落葉した今の時期ならば、美しい雑木林と展望を楽しむことができる。



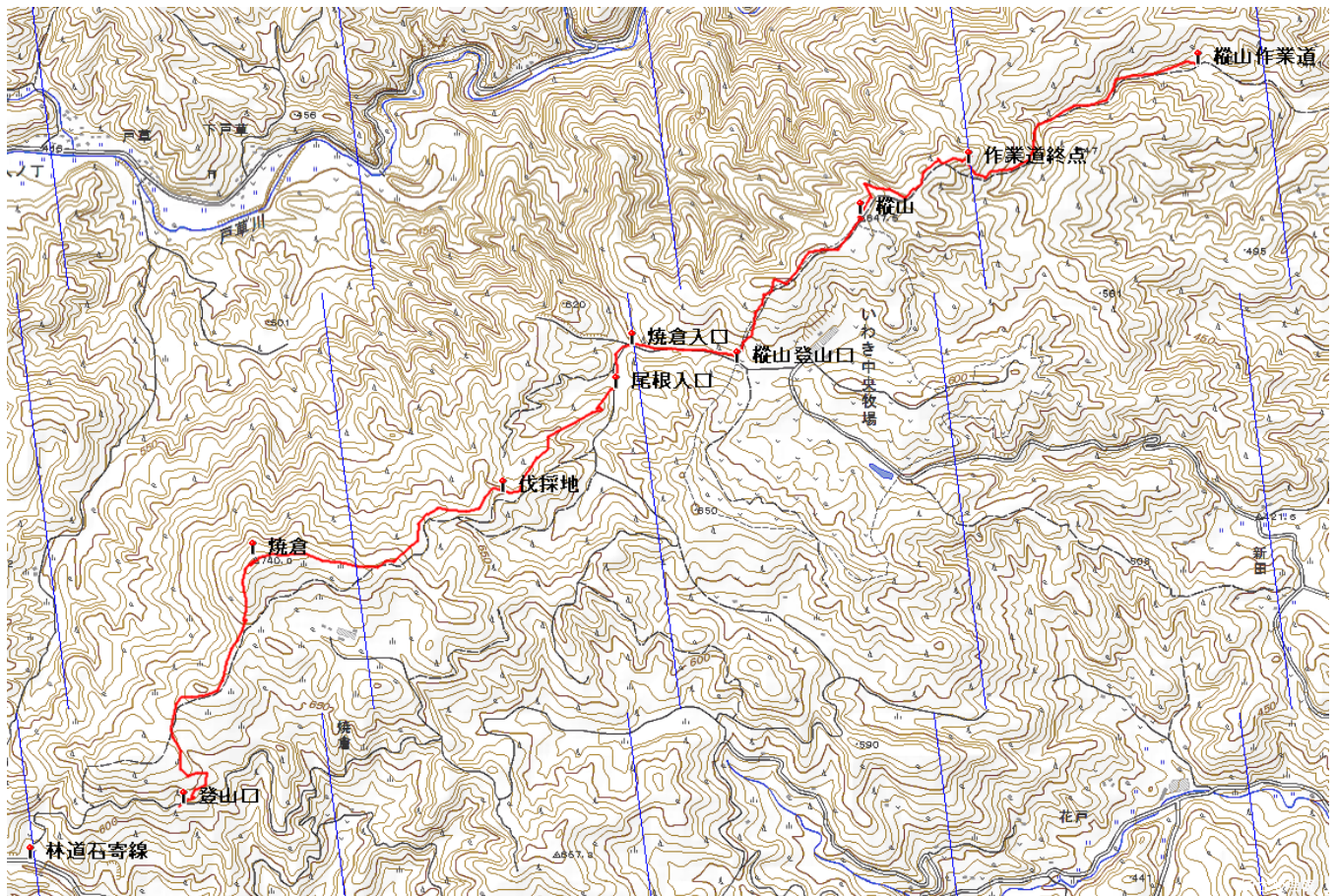
三角点を後にし、緩やかな尾根を歩くと気持ちの良い雑木林の中を歩く。伐採地に出ると一



気に展望が広がり斜面に点在する巨石や、湯ノ岳から天狗山三大明神山や水石山などいわき七峰のコースを一望でき、感慨深いものがある。ここで冬の陽だまりを浴び恒例のデザートとする。

伐採地を下るといわき中央牧場からの林道に出るので縦山登山口まで林道を歩く。登山口から杉の植林地を登り雑木林の広々とした緩やかな尾根を進む。だんだん縦の木が多くなってくと縦山（点名：大山）頂上。

縦混じりの雑木林の中を緩やかに下ると再び伐採地に出、展望が広がる。作業道を下ると駐車地に着く。



車で御齊所山の横を通り、井戸沢断層を見学。当初予定していたラーメン屋「呑気」は残念ながら水・木は休み。ソースかつ丼で有名な「ながせ食堂」で昼食とする。車を回収し終了。



焼倉～縦山～御齊所山にかけては大規模風力発電「田人中央ウインドファーム」23基が計画されており、その視察も含めて調べたり、刈り払いをしたり二つの山をそれぞれの方向から単独には歩いていたが、縦走するのは初めて。今年ラストの「木曜デザートクラブ」に最適の山を楽しむことができました。行動時間約4時間。
(文責：秋葉)

いわき七峰縦走に参加して

石城登山教室 野寺 廣子

12月2日に、初めていわき七峰縦走に参加しました。第13回を数えるのに、私はこのようなイベントがあることも今年初めて知りました。初めてのこともあり、10.5Km(水石トンネル→水石山→小玉ダム)のコースに申し込みました。一緒に参加した一人は3回目、私を含め3人は、初めての挑戦となりました。体力的に不安はありましたが、楽しみにしておりました。

12月2日は天気もよく、さほど寒くもなく歩くのにはちょうど良い気候でした。受付を済ませ、スタートを待っている間に、チャレンジコースや健脚コースの方が通過していったのには驚きました。途中でも何人もの人が追い越していきました。タイムを気にしながら自分との戦いなのだろうと応援の気持ちと尊敬の気持ちで道を譲りました。私たちは周りの景色を楽しみながら、だんだんと山の中へ入っていきました。山の中では、溪流のせせらぎときれいに色づいた紅葉が私たちを待っていてくれて、とても心が癒されました。途中、登りがきつく、苦しい場面もありましたが、水石山の頂上の景色、展望台からの360度のパノラマ。登りの苦しさを吹き飛ばしてくれる素晴らしい景色でした。頂上で昼食を済ませ、小玉ダムまでの下りの道のりは、本当のところ行って行けそうなほどの急斜面で、膝がガクガクしてしまいましたが、下に見えてきた小玉ダムを目指して転倒することなく下っていきました。5時間5分というタイムでしたが、無事に全員で完歩することができて感無量でした。とても達成感がありました。人生はよく山登りに例えられることがありますが、この達成感を味わうために、どんな苦しいことにも挑戦し続けられたらいいなと感じました。

最後に、この七峰縦走を企画し応援して下さったスタッフの皆様に感謝いたします。数日前より七峰の整備に携わってくださり、当日は要所、要所で待機して、お菓子や暖かい飲み物、手作りの柚子やレモン・梅などをふるまって頂き、また、やさしい声掛けをしていただきとても感激しました。完歩できたのもこの楽しみがあってこそだと思います。ゴール時点での甘酒は、疲れも癒してくれ、思わず2杯もいただきました。次回はもう少し長い距離に挑戦できたらと思います。

(いわき七峰縦走に初挑戦して)

2018年12月2日(日)

伊藤貴美子

今回いわき七峰縦走に、登山の機会がなかった友人を含め4人で参加しました。

一般Bコースで水石トンネルから9:00出発。晴天に恵まれ紅葉、木々、溪流をみながら、落ち葉に滑らないように登り、カロリー補充しようと思っていたところ、チョコレートやレモン漬、梅ジュース、コーヒー等の差し入れがあり、美味しくエネルギーをもらいました。

登坂の途中で休憩していると、湯ノ岳からの登山者がかなりのスピードで軽やかに追いついて行きました。挑戦している姿にパワーをもらい、12:00水石山頂上へ。展望台で爽快感を味わいながら昼食。剣ヶ峰から直滑降の地点は、落ち葉がいっぱい積っていたので滑らないようにロープにつかまりながら下山しました。かなり苦戦しました。

14:10ゴールの小玉ダムに到着。タイムは5時間5分。温かい甘酒で身体が温まりました。

今回の縦走で、完歩できた爽快感といわきの里山登山の楽しさを味わいました。来年はさらにチャレンジできるよう脚力をつけておきます。

安全に登山できるよう整備、準備してくださった山岳会の皆様、寒い中、温かい飲み物や励ましの声かけして頂いたスタッフの方々に感謝です。

面白・不思議「いわきの山」

石城登山教室資料 2018、12.5 秋葉

いわきの山は冬こそが最高！

水石山、湯ノ岳、ニッ箭山、背戸峨廊が有名ですが、そのほかにも面白いところが一杯

- 1 いわきの最高峰は鬼ヶ城山、2 番目、3 番目は
矢大臣山 965m (いわき市、小野町、滝根町の境界)
① ヶ城山 878m ② 屹兎屋山 875m ③ 猫鳴山 820m ④ 神楽山 808m
- 2 いわき三富士とは
絹谷富士、滝富士と () 富士
- 3 いわきの一等三角点は
ニッ石山 (本点)、屹兎屋山 (補点)、
下神白 (補点) 三崎公園内、福島県で一番低い一等三角点
- 4 いわきで見られる氷瀑
湯ノ岳川上溪谷、背戸峨廊。猿峨廊って分かる？
- 5 いわき七峰とは
() () () () () () ()
- 6 田人の最高峰は猿内
三株山 841.8m 古殿町、朝日山 797mはいわき市と鮫川村との境界
① 猿内 778.72m ② 高ボッチ 777.81m (点名：入相) ③ 明神山 752m
- 7 田人に3つの三峰山
上三峰山 620m、三峰山 (権現山) 659m、下三峰山 481m
- 8 明神石 680mはどこ
- 9 大丸山 702m、中丸山、小丸山
- 10 忘れられようとしている、旧出旅人、黒田、荷路夫の境界、三ヶ村ボッチ 420m
- 10 高野三山とは 三大明神、いやの森、一の森
- 11 高野、藤原、遠野の神様が集う三大明神
- 12 「いわき山」ってあるの？ 石森山 224m (点名：磐城山)